



あだっこ

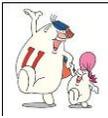
本年度の本校の教育について総括しました。ご一読下さい。

学校教育目標

「ふるさとに誇りをもち、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」

〔めざす児童像〕 あかるく元気な子 だれにも親切な子 しつかりと考える子 とばを大切にする子

豊かな心



○人権意識を高めるために

今年度は、子どもたちの主体性を育て、自尊感情を高める取り組みを進めてきました。心が温かくなったことをカードに書いて「あったかの木」に貼りました。すきま風が吹いていた「あったかの木」も子どもたちの温かい気持ちでいっぱいになりました。



○「道徳」の研究授業

自分の考えを深める・広げるためには「言葉」で話したり聞いたり、話し合うことが大切ではないかとされています。しかし、「言葉」等で話し合う力の土台となるものがあるのではないのでしょうか。



道徳の時間や研究授業を通して、「豊かな心を持ち、自ら考え判断し、実践する子どもの育成」を目指してきました。まだまだ十分とは言えませんが、来年度も本年度の課題をもとに、ふるさと魅力化プロジェクトを中心とした研究テーマを設定し、取り組んでいく予定です。



○あいさつ

運営委員会では気持ちを伝える「あいさつ」について話し合いました。全校朝会で「あいさつ」のポイントを説明したり、お手本を見せてくれたりしました。下校会の司会では毎日あいさつについて、全校のみんなに呼びかけることができました。



○人権教育講演会

今年は車いすダンサーの奈佐誠司先生をお招きし、「夢をあきらめない」というテーマのもと、大阿太・南阿太の人推協と共催させて頂きました。奈佐先生からは、華麗なダンスパフォーマンスだけでなく、相手の立場に立って考えること、支えてくれる人達の応援があったからこそ壁を乗り越えられたこと、夢をもって前向きに強く生きていくこと等を学びました。



また、子どもたちに車いすダンスを教えていただいで、一緒にパ

フォーマンスすることができました。

確かな学力

○基礎学力を高めるために

各学年で学習する基礎・基本をしっかりとできるように、基礎学タイムを実施しました。毎朝5～10分や学年によって月・木曜日の6時間目を使って実施しました。また、ペアやグループでの話し合い活動では、他の人の考えや意見を聞くことで考えの違いに気付き、考えを深めたり、考えを広げたりすることができるようになってきました。



○家庭学習の大切さ

家庭学習の手引きを本校でも作成しています。手引きにはお子様を理解し、支えるためのヒントやアドバイスも掲載しています。家庭での学習や生活についてお子様と話し合い、家庭での学習習慣の形成のために役立てていただければと考えています。



健やかな体

○体力向上の取組

五條高校と連携し、体力テストの測定支援をしてもらいました。マットを使った立ち幅跳びでは、思いっきり練習することができました。また、縦割り活動で走・投・跳の動きを取り入れた運動にも取り組みました。



○保護者、地域の方との連携

子どもたち一人一人のよりよい成長のために、保護者・地域の方との連携を大切にしてきました。今年、学級園の野菜植え、プランターの花植え、昔遊び集会、登・下校の子どもたちの見守りなど、各方面でボランティアの方々に支えていただいで、子どもたちの活動がより楽しく安全なものになりました。今後も保護者・地域の方とより一層の連携を図ることができまよう、ご協力をよろしくお願い致します。



今年度の様子は阿太小ブログにも掲載されています。アクセスしてみてください。